



東岐波小第5学年
学年だより11月号
2025.10.31

吹く風に冷たさが混じり、二学期は後半に突入しました。

宿泊学習は、好天に恵まれ、TAPやオリエンテーリングなどの屋外での活動も予定通り行うことができました。子どもたちはとても楽しそうに、また、一生懸命に活動に取り組み、友達の良さや仲間と協力するときに大切なことなどを感じることができたようでした。キャンドルの集いでは一日をふり返りながら、お家の人への感謝の気持ちをはがきに書きました。目を通してみてください。

11月も、スタンプラリー集会、持久走大会など、大きな行事がまだまだたくさんあります。一つ一つの行事を通して、子どもたちがさらに力をつけ、成長していくことができるよう支援していきたいと思っています。

～11月の行事予定～

- 11月 4日(火) 朝の読み聞かせ
- 5日(水) 東岐波地区授業の日 5年3組 14:25下校(1・2組13:00下校)
- 12日(水) スタンプラリー集会
- 14日(金) TOYOTA オンライン授業
- 17日(月) メディアコントロール教室
- 17日(月)～21日(金) 選書会
- 20日(木)～26日(水) メディアコントロール週間
- 25日(火) 代表委員会
- 26日(水) あおぞら号
- 27日(木) 持久走大会
- 28日(金) 持久走大会予備日

持久走大会

- 【日 時】 11月27日(木) (11月28日(金) 予備日)
- 5年生スタート時刻 11時00分
- ※女子→男子の順 女子がゴールし次第、男子がスタートします。
- 【場 所】 東岐波小学校運動場
- 【距 離】 1300m(4周)
- ※駐輪場、駐車場はありません。徒歩でお越しください。

ジョギングタイム

- 【期 間】 11月4日(火)～26日(水) 中間タイム
- 【持参物】 ・汗拭き用タオル ・水筒 ・下着の着替え(必要な人)
- ※運動に適したサイズの靴で登校しましょう。

学年分散で実施します。
5年生は6日、18日、
19日、25日です。

人権参観日 お礼

先日は、人権参観日並びに、人権講演会へたくさんのご参加をいただき、ありがとうございました。子どもたちは、「あってもいい違い」と「あってはいけない違い」というテーマで話し合いをしながら、人権や差別問題について考えることができました。また、講演会では、知ることの大切さを学んでいました。

本参観日への、ご感想やご意見をたくさんいただきましたので、いくつかご紹介できたらと思います。アンケートへのご協力ありがとうございました。

○保護者様のアンケート より

- ・今回は「あっていいちがい」、「あってはいけないちがい」について考える授業でした。参観日に来て毎回思うことが、高学年になっても「異性のクラスメイトと話し合うなんてできない」とか「一緒に活動するなんて恥ずかしい」といった場面を見ることがほとんどなく、男子・女子ではなく、一人の人間として普段から接しているのだと感じました。このことから人権教育の取組が生かされているなと思いました。今回の授業に関して言うと、子どもたちの身近な場面における「ちがい」は簡単に想像ができて答えがでていました。が、想像し難い状況の場合はみんなどうかな？といったかんじで悩んでいたように見えました。普段から私たち親もすぐに答えを与えるのではなく自分で色々想像し考えさせることが大切なのではないかと思いました。
- ・「学校に行きたくても行けない」同じ歳の世界の友だちがいる。その現実を知って、何か少しでも感じ取ることができれば良いと思いました。
- ・授業では「あって良い違い」と「あってはならない違い」について子どもたちが考えており、あって良い違いにAさんは毎日学校に行っているが、ある国のBさんは家の仕事などがあり、毎日学校へ通っていない。という様な内容があった。先生が子どもたちに話していたように、毎日子どもたちだけで登下校が当たり前でできること、当たり前で給食があること、爆弾が落ちてくる心配をしなくて良いこと…この当たり前が奇跡なのだ子どもたちが学べる良い時間だと思った。また、ハンセン病の講演会では無知であることの怖さを感じた。本当であれば感染力も弱い菌が原因のハンセン病は隔離する必要は全くなかったが、無知だからこそその恐怖→隔離、偏見、差別につながったのだと思った。コロナの時もそうだったが…。自分の目で見て、耳で聞いて、様々な情報を得て自分で考える。知ことはとても大切だと思う。
- ・「あってもいい違い」と「あってはならない違い」についてグループで話し合う活動はとても良いと思いました。制度的な背景や理由について、もう少し詳しく生徒の意見を聞きたかったです。また、難しい設問では、もっと色々な意見を聞いてみたかったです。今回の学習を通して生徒たちはいろいろ考えることができたと思います。

○ 児童の振り返り より

- ・あっていいちがいとあってはいけないちがいについて知れた。個人の考えや好みは違っていいけど周りの人が個人の考えや自由をうばってはいけないとあらためて思った。
- ・世の中にはあっていい違いとあってはいけない違いがあると分かった。それぞれの国の文化があっても、同じ年れいで仕事をさせるのは良くないと思った。ハンセン病は、昔は「らい病」と呼ばれていたと知った。ハンセン病問題をなくすために、自分たちに何ができるのか考え直してみたい。
- ・子どもの権利条約がいくつもあると知りました。それと国によっても、色々な考え方があったから、一つ一つの考えを大切にしたいと思いました。
- ・世界には色々な人がいる。でも子どもも戦争に行かないといけないのは違うと思った。
- ・他の国などは、ごはんも家もない子どもたちがいることを知った。子どもなのに仕事をしているなんて考えられなかった。